

Osaka Metro まちさんぽ

江坂駅

90分
コース

御堂筋線 江坂駅

えさか くろうど
榎坂村と蔵人村を歩く

江坂が榎坂だった頃の歴史を求めて

昭和45年(1970)に大阪万博開催の年に御堂筋線江坂駅が開業し、副都心といわれるほど爆発的に都市化が進みました。この地は1000年ほど前の平安時代に貴族や有力寺社の荘園が設けられて榎坂郷が生まれたのがはじまりです。それ以来、高川左岸のとても豊かな農村地帯でした。



スタート駅

御堂筋線
江坂駅
⑤号出口

1

① ダスキン本社・豊津公園
岡本太郎作品

2

② 榎坂東道標・西道標
横関街道、吹田街道

3

③ (江坂大池)
法泉寺 榎坂村大池

4

④ (江坂神社)
素盞鳴尊神社

5

⑤ 油かけ地藏

6

⑥ 高川水路橋
高川沿い遊歩道

7

⑦ 蔵人の街並み
蔵人稲荷神社

8

⑧ 蔵人遺跡

ゴール駅

御堂筋線
江坂駅

約 90 分

榎坂郷には垂水、榎坂、小曾根、穂積の4村があったとされ、千里丘陵の南に広がっていました。高川、糸田川、神崎川に囲まれ、水難を克服しながら豊饒な農村をつくりました。近世には榎坂郷の一部の農民が移住して蔵人村をつくりました。榎坂村と蔵人村を歩いてみましょう。

新型コロナウイルス
感染拡大防止のために

●体調が優れない場合のご参加はお控えください。 ●マスク着用の上、他の方と2m程度距離を空けてご参加ください。
●混んでいる時間帯を避け、会話を控えめにしてお参加ください。

江坂が榎坂だった頃の歴史を求めて

昭和45年(1970)に大阪万博開催の年に御堂筋線江坂駅が開業し、副都心といわれるほど爆発的に都市化が進みました。この地は1000年ほど前の平安時代に貴族や有力寺社の荘園が設けられて榎坂郷が生まれたのがはじまりです。それ以来、高川左岸のととても豊かな農村地帯でした。

スタート駅

約 90 分

ゴール駅

御堂筋線江坂駅⑤号出口

御堂筋線江坂駅

1 岡本太郎作品(ダスキン本社・豊津公園)

大阪万博の「太陽の塔」をデザインした芸術家・岡本太郎の壁画「みつめあう愛」がダスキン本社の2階ピロティに、そして豊津公園には愛称「リオちゃん」の造形物が設置されています。



2 横関街道、吹田街道、榎坂東道標・西道標

大坂から池田へ、むかしの中津川の横関の渡しを通過していた南北の道が横関街道、能勢街道と亀岡街道を東西につなぐ街道が吹田街道で、榎坂村で交差していました。人々が四方に往来する便利な道で、街道の交差点2か所に道標が残っています。東の道標には「左り勝尾寺」、西の道標には「右 かちを(じ)」「右みのを 中山 すぐ はっとり あま」の文字が読めます。



3 法泉寺・榎坂村大池(江坂大池)

法泉寺は、榎坂村の中心部にある浄土真宗の寺です。鐘楼は石山合戦のとき米36俵を送った返礼として本願寺から贈られたものと伝えられています。大池は榎坂村の大きなため池でしたが、都市化で縮小し、小学校や幼稚園、公園が建設されました。



4 素盞鳴尊神社(江坂神社)

素盞鳴尊神社は通称を江坂神社といい、榎坂村の産土神として村人によって祀られてきたものです。神仏習合の影響でインドの神・牛頭天王が習合されたため、牛頭天王社とも称されていましたが、明治の神仏分離令で、現在の素盞鳴尊神社に改めました。



5 油かけ地藏

平安時代の伝説上の人物・小栗判官が通りかかったところ、車が動かなくなり、そばの地藏尊に油をかけて祈ったら動いたという伝説から、行き詰まったときに地藏尊に油をかけて願いをすればたちまち円滑に動き出すと信じられています。堂内には食用油が置かれており、地藏尊は油でテカっています。



6 高川浴い遊歩道・高川水路橋

高川は千里丘陵に発して豊中市と吹田市の市境を南下し、神崎川に合流します。かつてはここに吹田街道の土橋がかかっていました。このあたりは著しい天井川で流れの下を道路が交差し、遊歩道から川の下を横切る車が見えます。



7 蔵人稲荷神社・蔵人の街並み

鎌倉時代初めに榎坂郷の農民がこのあたりまで出向いて農地を耕し、そのまま定住して散村を形成し、やがて蔵人村ができたと言われています。そのときから村の鎮守の神として蔵人稲荷神社が祀られてきました。明治になって集落が発展して、その頃の旧家がいまでも面影を残す街並みがみられます。



8 蔵人遺跡

昭和36年(1961)名神高速道路の建設現場から古代の土器が発見され、その後の発掘調査によって弥生時代から室町時代にかけての複合集落遺跡であることがわかりました。場所は蔵人村に重なり、掘立柱建物や井戸、耕作地、池などの古代遺構や、青磁器、漆器、箆、下駄、遊具など鎌倉・室町時代の村落遺品が出土しました。人々が2000年の歴史を受け継いでこの地に暮らしてきたことがうかがえます。

文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2021年5月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先)大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp

後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<http://www.osaka-asobo.jp> または [大阪あそ歩](#) で検索

ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。
※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。

ご案内

※駅スタンプは駅長室内に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

駅スタンプ押印欄